



LETTERS

2024年 冬号

公益財団法人
佐倉国際交流基金

〒285-0025
佐倉市錦木町 198 番地 2
TEL・FAX 043-484-6326

第35回佐倉国際スピーチコンテスト



2024年10月20日(日)、ミレニアムセンター佐倉において「第35回 佐倉国際スピーチコンテスト」を開催しました。午前の部は幼児2名、小学生22名、午後の部は中学生18名、大学生1名、シニア4名が参加と今年も幅広い年齢層の方々に出場いただきました。結果は下記のとおりです。



※敬称略【幼児～小学生 午前の部】

賞	氏名	所属	学年
佐倉国際交流基金賞	大澤 紗弥子	私立小学校	2年
審査員賞	小出 健登	佐倉市立井野小学校	5年
審査員賞	石橋 龍	佐倉市立井野小学校	1年
審査員賞	林 羽霄	文京区立千駄木小学校	1年

※敬称略【中学生～シニア 午後の部】

賞	氏名	所属	学年
佐倉国際交流基金賞	佐藤 寧音 吉田 奈々美	専修大学松戸中学校	中学3年
審査員賞	高島 章人	佐倉市立臼井南中学校	中学3年
審査員賞	三平 恭太郎	佐倉市立佐倉中学校	中学3年
審査員賞	福田 吉修		シニア

Q1.スピーチコンテスト出場のきっかけを教えてください。

- ・小学1年生のころから通っている英会話教室の先生のすすめもあり、これまで4回出場しました。中学最後の年にこれまでの集大成として挑戦しました。(三平 恭太郎さん)
- ・先生から奨められたことや尊敬している先輩がこのコンテストに参加したことがあったからです。(吉田 奈々美さん)
- ・シニアなのでいろいろな経験を積んでいます。若い人たちにお伝えしたいことは沢山ありますが、そのうちの一つを今回英語でスピーチさせていただきました。アメリカ人との偶然の飛行機の中での出会いと会話なので、このスピコンの趣旨からも良いかなと考えました。(福田 吉修さん)

受賞者の皆さんに聞いてみました!



Q2.コンテストの感想を聞かせてください。

- ・最初は緊張したけど、楽しかったです。受賞できると思っていなかったのが、嬉しかったです。(大澤 紗弥子さん)
- ・皆さんがさまざまな課題について考え、自分の言葉で表現する姿にとっても感動しました。(林 羽霄さん母)

Q3.自分のスピーチの中で特にこだわったことや練習に力を入れたことがありましたら教えてください。

- ・スピーチのオチで皆を笑わせたかったから、相手にうまく伝わるようにしくて、大きい声と発音の練習を頑張った。何度も練習したから、本番でも安心して話せた。(石橋 龍さん)
- ・演劇部に所属していますので、3分という短い時間の中で皆さんの中に英語が入りやすいように、そして物語性も伝わるように練習しました。発音も頑張りました。(佐藤 寧音さん)

Q4.今後どのように英語を生活に活かしていきたいですか。将来の夢や目標などがありましたら教えてください。

- ・これからも自分の気持ちを英語で伝えてみたいです。将来は昆虫学者になり英語を活用して、世界的に活動できるようになりたいです。(高島 章人さん)

すでに 35 回を数える、英語によるスピーチコンテストになりました。出場者は長い期間を準備にあて、このステージに立ったことを想像するに難くありません。それほど皆さんのスピーチは素晴らしく感動するものでした。一言一言かみしめるようにスピーチする人、ペアの息ぴったりの豊かな表現力、そして楽しそうにスピーチをする人、内容を年を重ねた思いをうたえておられたスピーチと、一人ひとりに賞をあげたい気持ちです。今年も成功裏にコンテストを終えました。協賛をいただいた団体、運営に携わっていただいたボランティアの方々、そして、審査員のみなさんに感謝申し上げます。

第35回 スピーチコンテスト運営委員長 橘 正明



第6回 日本語講座のつどい

11か国
125名の参加

11月17日に第6回、日本語講座のつどいを中央公民館大ホールで開催しました。

日本語講座の学習者、東京さくら学院、及び佐倉南高校の皆さんから出場者を募り、スピーチの部と交流の部の2部構成で進めました。スピーチの部では日本語を学ぶ熱意や夢、自分の趣味や好きな事、母国のさまざまな食べ物や観光地の紹介など、思い思いのテーマを日本語で発表してもらいました。交流の部ではネパールダンス、ベトナムでヒットした歌、日本の演歌など熱のこもったパフォーマンスを披露してもらいました。佐倉南高校のグループは「しあわせなら手をたたこう」を日本語に加え、シンハラ語とタガログ語で、会場の方々と楽しく合唱しました。

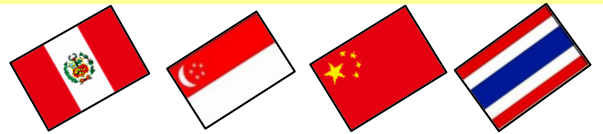
最後に福引大会があり、和やか雰囲気のもと「日本語講座のつどい」を終えることができました。

学習者の皆さんには、これからも日本語の勉強を通して、自分の目標に向かって頑張ってもらいたいと願っております。

第6回 日本語講座のつどい実行委員長 小川信義



外国人によるスピーチの部 ※敬称略



スピーチタイトル	発表者	出身国	所属
「目標に向かって」	宮埜 秀輝	ペルー	AIUE 志津
「ちいさな赤い点」	ホング ミーアン サマンサ	シンガポール	木曜午前教室
「日本語を学びたいという熱意」	山口 エデン エルナンデス	フィリピン	木曜午後教室
「葬送のフリーレン」	ホダダット マリヤム	アフガニスタン	AIUE 志津
「歴史から学ぶ」	ヨスフィ アブドル ラジック	アフガニスタン	佐倉南高校
「いつ始めても遅くない」	高 思源	中国	東京さくら学院
「なぜ日本に来たの？」	ファム ハイチュウ	ベトナム	日曜教室



交流の部 ※敬称略

演目・タイトル	発表者	出身国	所属
歌とダンス「シンデレラガール」	クスマ インドラ	インドネシア	にほんごサロン
ウクレレ弾き語り「Slow&Easy」	マリナ	タイ	東京さくら学院
歌「世界が終わるまでは」	黄 強	中国	にほんごサロン
歌「Nuoc ngoai(ヌオック グアイ)ー外国」	タン ヴァン ジエン & ホアン ヴァン ミン	ベトナム	東京さくら学院
ダンス「私はネパールの娘です」	スミカ	ネパール	日曜教室
歌「北国の春」中国語	エン フーセイ	中国	金曜教室
歌「幸せなら手をたたこう」日本語、英語、タガログ語、シンハラ語	生徒7人	スリランカ、フィリピン	佐倉南高校
皆でダンス「Night Fever」	北原 久美子		SIEF相談員
福引(Lottery)			



～日本語を学びたい外国人の方へ～

にほんごをまなびたい



2025年1月から3学期が始まります！

ホームページはこちら

レッスン料なし、教材費が各学期ごとに1,000円かかります。(小中高生は500円)いつでも体験、見学を受付中です。詳しくは佐倉国際交流基金HP www.sief.jp をご覧ください。



女性のためのにほんごこうざ

New Open!

もうしこみ Apply to:
お名前
お住所
お電話番号
おメールアドレス
佐倉国際交流基金 SIEF
Tel: 043-484-6326
info@sief.jp

じょせい
女性のための
にほんごこうざ

だいいち どのうりび
第1. 2. 3 土曜日
First, Second, Third Saturday
9:30 - 11:00

子ども預かり制度あり
Babysitters available

JAPANESE CLASS FOR WOMEN

Start from
9月7日(土)~
7th, September

PLACE ↓
ねこう こうみんかん
根郷公民館
Sakura City, Jo
佐倉市 成 343-5



9月から根郷公民館で『女性のためのにほんごこうざ』を開講しました。この講座は子供を持つ外国人の母親が安心して日本語を学べるようベビシッターに子供を一時的に預かってもらいながら日本語を学べます。受講者が日本語を学習している中、子供たちは同じ建物内の別室でのびのびと遊ぶことができます。もしお近くに日本語を学びたい方がいらっしゃいましたらお知らせください。SIEF では外国人のための生活相談(通訳・翻訳)もごさいます。何か要望がありましたら SIEF 事務局までご相談ください。



日本語を教えるボランティアを随時募集しています。(月2~4回、90分)
日本語教師の資格や経験がなくても可。
外国人のサポートがしたい方はSIEF事務局にお問い合わせください。



佐倉市国際文化大学

2025年受講生の募集は3月初めに佐倉国際交流基金のHP、こうほう佐倉、チラシ、ポスター等でお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

明日へつなぐ 文大講座

2024年度佐倉市国際文化大学(以下「文大」)は全22回の講座が無事終了しました。例年文大は5月中頃に開講し、8月の夏休みを挟んで11月の末に修了します。中央公民館等の公共施設を教場にして定員100名の受講者が土曜日の午後に集まり、国際情勢、国内外の政治経済課題、それに文化芸術にわたって、大学教授や各界の専門家にご登壇頂き講話を拝聴しています。講義の後には沢山の質疑応答で更に理解を深めます。その内の3回は市民の方々も自由参加される公開講座として開催し、今年は中国経済、日本の財政金融やイノベーションをとりあげ、延べ参加者650名が熱心に聴講されました。

これだけではありません。社会見学で春日部の地底探検・首都圏外郭放水路「地下宮殿」と我孫子の「鳥の博物館」を見学、昼食に舌鼓を打ちながらの懇親で30名が参加。ゼミ自由研究では二つの歴史研究チームが猛暑の中で史実を辿る現地視察や文献研究、政経・国際チームは日本再興の諸施策や戦略について25回ものデータ分析や口角泡を飛ばす意見交換を行い、それぞれ研究成果を発表されました。

現在2025年度のカリキュラム・講座テーマを選定し講師陣とご登壇の交渉中です。来年も時節にミートした国内外の重要課題に着目して国際相互理解を深める講座を企画しています。市民の皆様のご応募・3月初めに向けて準備を進めております。どうぞ2025年度も文大講座にご参加ください。

佐倉市国際文化大学 事務局長 鈴木昭寛



公開講座



課外活動 首都圏外郭放水路「地下宮殿」



ゼミ研究発表会

イングリッシュサロン ～クリスマス交流会～

11月30日(土)にクリスマス交流会を開催しました。サロンメンバー約50名と2名の外国人ファシリテーター及びSIEF理事長、事務局長が参加しました。Find someone whoやTrue or Falseの英語のゲームでは皆で持ち寄った贈答品をいただき、クリスマスの歌やダンス、福引などクリスマス気分を味わいました。

2025年度のサロンメンバー募集開始は、3月中旬からを予定しています。佐倉国際交流基金HPをご確認ください。



市民活動発表会 2024

12月1日(日) 志津コミュニティセンターで市民活動発表会 2024～つたえる・ひろがる・私たちの活動～に参加しました。佐倉市内には多くの市民活動団体があり、様々な活動をされています。佐倉国際交流基金(SIEF)もより多くの方に知っていただき SIEF の活動にご理解いただけますようこれからも情報を発信します。



ご案内

◆ 国立歴史民俗博物館

【企画展示】

「時代を映す錦絵－浮世絵師が描いた幕末・明治－」
2025年3月25日(火)～5月6日(火・休)

【第3展示室特集展示】

「歴史・文化の中の鄭成功」
2024年11月26日(火)
～2025年1月26日(日)
「和宮ゆかりの雛かざり」
2025年2月18日(火)
～3月30日(日)



武蔵野 (シシガシラ (カンツバキ) 群)

【くらしの植物苑特別企画】

季節の伝統植物「冬の華・サザンカ」
2024年11月26日(火)～2025年1月26日(日)

*開館時間・休館日等、最新情報はホームページ等でご確認ください。
<https://www.rekihaku.ac.jp>

◆ DIC川村記念美術館

「西川勝人 静寂の響き」

期間:2024年9月14日(土)
～2025年1月26日(日)

開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)
休館日:月曜(ただし祝日の場合は開館)、12月24日(火)～
1月1日(水)、1月14日(火)

*最新情報はDIC川村記念美術館HPでご確認ください。
<https://kawamura-museum.dic.co.jp>



撮影: 渡邊 修

佐倉国際交流基金 事業報告

- 国際相互理解推進事業
 - 公開講座
 - 佐倉市国際文化大学
 - 佐倉国際スピーチコンテスト
 - イングリッシュサロン
- 国際交流活動支援事業
 - 国際交流団体へ助成
- 外国人支援事業
 - 外国人のための日本語講座
 - 外国人のための生活相談
- その他附帯事業
 - 国際交流ボランティア
 - 後援事業
 - 国際交流活動等情報提供

当基金は運営ボランティアの皆様と賛助会員様のご理解とご協力の元に運営しております。
ご支援賜り厚くお礼申し上げます。
心より感謝致します。

公益財団法人 佐倉国際交流基金 事務局 (SIEF) 関口・古澤・木山

〒285-0025 佐倉市鍋木町 198 番地 2 レインボープラザ佐倉 2F

電話・Fax 043-484-6326 (月～金 9:00～17:00) HP: <http://www.sief.jp> Email: info@sief.jp